

保護者の皆様

川崎市立生田中学校

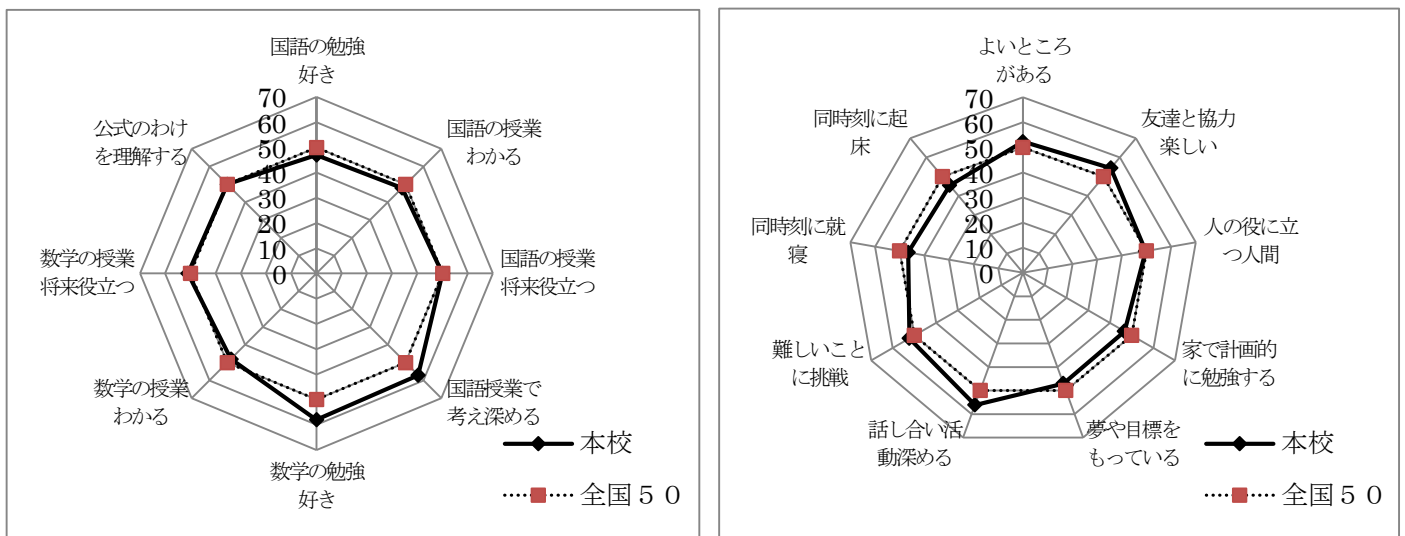
校長 中村 隆英

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果概要と生田中学校における今後の取組について

日頃より本校の教育活動にご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。本校におきましては、『一人ひとりが自ら学び、思いやりの心と正しい判断力をもって行動できる生徒の育成』を目指して日々の教育活動に取り組んでおります。さて、先般、5月27日（木）に3年生を対象に実施されました全国学力・学習状況調査の各学校の調査結果が配布されました。調査結果をもとに、本校の学校教育目標ならびに学校経営方針を踏まえ、学校づくりに生かす視点から分析を行いましたので、今後の取組について報告いたします。

なお、本調査によって測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校の教育活動の一側面であることが、調査の実施要領に示されております。したがって、本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えいただきたいと存じます。

1 調査結果概要（全国の結果を50とし、それに対する本校の結果を表わしています。）



2 調査結果をもとにした今後の取組

成果      課題      分析      今後の取組     

\* 示している数値・・・「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」の合計数値 ( ) は全国の数値

(1) 確かな学力に関する調査結果

・国語について

① 目的に応じて文章を読み、内容を理解して自分の考えを広げたり、深めたりしている。

84.4% (77.0%)

② 国語の勉強は好きだ。

57.0% (60.8%)

目的に応じて読解をし、内容を自分の考えと、おりに合わせる授業実践を心がけています。

① 今後も引き続き、授業での活動を通して、自分の考えを持って表現することを充実させる必要があると捉えています。

② 国語の勉強の楽しさや、考えを広げることへの意欲をもたせる取り組みや教材の研究が課題だと考えられます。

【今後の取組】

国語は全ての学習の基だということを実感できるように、授業を工夫し、他教科との横断も視野に入れ、日常生活に、楽しみをもって「本を読むこと」「文章を書くこと」を取り入れるよう、意識を向上させていきます。

## ・数学について

- ① 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つ。 76.4% (74.6%)
- ② 数学の授業は好きだ。 66.7% (59.1%)

- ① 数学の問題の解き方が分からない時は、あきらめずに色々な方法を考える。 72.6% (75.8%)

情報を読み取る力を育てるため、情報から関係性を見出せるように表やグラフを活用し、様々な事象の変化について、式や言葉で表現して説明させるなど、学び合いや伝え合う授業に力を入れて取り組んでいます。

- ①② 全国平均よりも高く、前回よりも上がっていることから、学び合いながら、実生活との関連性を考えるよう指導している成果だと捉えています。
- ① 解き方が分からない時に、自分で試行錯誤して問題に取り組む事に課題が残りしました。

### 【今後の取組】

前回から引き続き力を入れている学び合いや伝え合う授業には、一定の成果が出ているので、今後も継続していきます。あきらめずに色々な方法を考えられるように、筋道を提示し、自分で考える時間を大切にしながら授業を行っていきたいと考えています。

## (2) 生活に関する調査結果

- ① 自分にはよいところがあると思う。 78.5% (76.2%)
- ② 難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦している。 68.3% (65.9%)
- ③ 友達と協力するのは楽しい。 97.8% (93.3%)

- ① 将来の夢や目標をもっている。 65.6% (68.6%)
- ② 自分で計画を立てて家で勉強していますか。  
(授業の予習や復習を含む) 60.2% (63.5%)
- ③ 学校の授業時間以外に、普段どのくらい読書を読みますか。(雑誌新聞教科書は除く)  
全くしない 58.6% (37.4%)

①②③ 授業や行事において、生徒が活躍する機会を設け、協力し、共に考え、共に学ぶ場面を多く設定していることが結果に結びついたと捉えています。「難しいことにも失敗を恐れずに挑戦している」や、「話し合い活動の深まり」にも、全国平均を上回る結果が出ています。行事では、特に3年生が主体となり、工夫を凝らした独自性のある発表を行っており、達成感につながっていると思われます。

- ① 全国平均に比べ、まだ具体的な夢や目標を持っていない生徒がわずかながら多い傾向が見られました。
- ② 目標に向けての学習等、計画的な日々の家庭学習の実施に課題が見られました。
- ③ 読書にかかる時間が前回に比べてもさらに少なくなっています。

【今後の取組】 引き続き、授業や行事等では話し合い活動を通して、自他を大切にしながら自主的な活動を支援します。また、総合的な学習の時間や各教科等の授業において、将来への歩むべき方向性を実感できる取り組みをさらに充実していきたいと思えます。読書から得られる知識や情報、心の豊かさ、想像力などについて伝え、自分自身の持つ興味や強みを知り、広げることにつながる活動に取り組むたいと考えます。生徒が、自ら進んで計画し、具体的に動き、結果を見つめ、日々の積み重ねにより人生を切り開いていくことの大切さに気づき、規則正しい生活や普段からの家での計画的な学習等の取組に生かせるように支援していきます。

教育委員会より 一人ひとりが自ら学び、思いやりの心と正しい判断力をもって行動できる生徒の育成を目指し、学習や行事に生徒が主体となって取り組むように促したことが自己有用感の高まりに繋がったと考えられます。家庭や地域との連携を深め、キャリア在り方生き方教育等の充実を図り、自立して生きていく力の育成に期待しております。多摩区・教育担当